



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3303		
科目名	ボランティア論		
担当教員	中林 啓修		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 1		
講義室	1202	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	共通学修		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP2-B〔自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢〕 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。 DP7-C〔他者理解・倫理観・公共心〕 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取舍選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモングルブリック (C R) との関連 E1 学識と専門技能 (20%) B1 自己啓発 (20%) C1 倫理的思考・社会認識 (20%) I1 理解・分析と読解 (20%) I2 量的分析 (5%) I3 情報分析 (15%)</p>		
教員の実務経験	関連する実務経験は特にありません。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 2 進時期～3 発展期		
科目概要・キーワード	<p>災害復旧や地域防犯活動などにみられるように、危機管理はボランティアの資源に多くを負っている。とくに現在の災害対策は、ボランティアの存在なくしては成り立ちません。がれきの処理や被災者への炊き出し、生活物資の提供、心理的ケア、情報提供、児童教育など、災害の復旧・復興過程の幅広い分野でボランティアが活躍している。</p> <p>個人や企業のボランティア、ボランティアを運営するNPO法人など、様々なステークホルダーがボランティアとして機能している実態がある。また、地域には、地元に着した活動を行う消防団や自主防災組織というボランティア的な伝統的組織もある。これらの活動について学び、災害対策においてボランティアを活用し、マネジメントする能力や防災・減災に関わるボランティア活動を客観的に評価できる能力を養うことを目標とする。</p> <p>授業は講義により行うが、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニング (遠隔授業) を取り入れる場合がある。</p> <p>■キーワード：災害ボランティア、NPO、中間支援組織、消防団</p>		
授業の趣旨	■副題 災害ボランティアが担う多様な公共性		

	<p>■授業の目的 日本における災害の発生状況を踏まえ、災害ボランティア活動の発展経緯を理解するとともに、現代的展開として、NPOなどを中心とした組織的ボランティア活動の動向を理解する。</p> <p>■授業のポイント 講義による知識獲得を中心に、部分的に演習を組み入れることでより体感的な理解を図る。</p>								
総合到達目標	<p>授業の到達目標は以下3点である。 * 日本における災害の発生状況を正しく説明できるようにすることで、災害ボランティア活動が活発になった背景を理解する。 * 災害ボランティア活動の発展経緯を理解し説明できるようになることで、社会における災害ボランティアの位置付けや意義・課題を理解する。 * NPOなどを中心とした組織的ボランティア活動の動向を理解し、説明できるようになることで、災害ボランティアの現在の展開を理解する。</p>								
成績評価方法	<p>■小テスト：11回（66%） 第2回以降、12回まで毎回授業時間内に小テストを行う。 小テスト後、当日の内容復習として簡単な解説を行う。 &lt;適用ルーブリック&gt; E1学識と専門技能 I1理解・分析と読解</p> <p>■演習：2回（44%） 第13回と14回で演習を行う。演習では、参加及びそこでの発言とまとめた成果内容を総合的に判断して成績に反映する。 &lt;適用ルーブリック&gt; E1 学識と専門技能 C1 倫理的思考・社会認識 I1 理解・分析と読解 I2 量的分析（5%） I3 情報分析</p> <p>■(適用ルーブリック-割合) E1（30%）、B1（5%）、C1（15%）、I1（30%）、I2（5%）、I3（15%）</p>								
履修条件	特になし。								
履修上の注意点	授業中は、私語など他の学生の学修の妨げになる行為をしないこと。そうした行為があった場合には注意し、改善しない場合は退席を促すことがある。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1240 517 1290">回</th> <th data-bbox="517 1240 1493 1290">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1290 517 1529">1</td> <td data-bbox="517 1290 1493 1529">                     ①授業テーマ ガイダンス                      ②授業概要 講義で扱う基礎概念の説明や授業構成、成績の考え方など授業のガイダンスを行う。&lt;E1,B1,C1,I1,I2,I3&gt;                      ③予習（60分）シラバスの全体をよく読んで、授業の全体の構成について十分に把握しておく。                      ④復習（60分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1529 517 1865">2</td> <td data-bbox="517 1529 1493 1865">                     ①授業テーマ 日本における自然災害概要                      ②授業概要 講義全体の前提として、日本国内の災害の発生状況について概観し、災害対応における課題とボランティアが果たしうる役割を説明する。&lt;E1,B1,C1,I1,I2,I3&gt;                      ③予習(120分) 「災害」「ボランティア」をキーワードとしてホームページを確認し、興味深い箇所を閲覧しておく。                      ④復習(120分) 映像で紹介した災害の詳細について、関連書籍やホームページなどで確認すること。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1865 517 2157">3</td> <td data-bbox="517 1865 1493 2157">                     ①授業テーマ 日本の防災・減災制度および災害対応におけるボランティアの位置付け                      ②授業概要 日本の防災・減災の制度や関連計画等におけるボランティアの位置付けを概観し、災害ボランティアとは何か、その全体像を説明できるようになる。そして、日本の防災体制の中での災害ボランティアの位置付けや意義を説明できるようになる。&lt;E1,B1,C1,I1,I2,I3&gt;                      ③予習(120分) 防災に関する制度等を調べ、その中で「ボランティア」やNPOの重要性について自分                 </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 講義で扱う基礎概念の説明や授業構成、成績の考え方など授業のガイダンスを行う。<E1,B1,C1,I1,I2,I3> ③予習（60分）シラバスの全体をよく読んで、授業の全体の構成について十分に把握しておく。 ④復習（60分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。	2	①授業テーマ 日本における自然災害概要 ②授業概要 講義全体の前提として、日本国内の災害の発生状況について概観し、災害対応における課題とボランティアが果たしうる役割を説明する。<E1,B1,C1,I1,I2,I3> ③予習(120分) 「災害」「ボランティア」をキーワードとしてホームページを確認し、興味深い箇所を閲覧しておく。 ④復習(120分) 映像で紹介した災害の詳細について、関連書籍やホームページなどで確認すること。	3	①授業テーマ 日本の防災・減災制度および災害対応におけるボランティアの位置付け ②授業概要 日本の防災・減災の制度や関連計画等におけるボランティアの位置付けを概観し、災害ボランティアとは何か、その全体像を説明できるようになる。そして、日本の防災体制の中での災害ボランティアの位置付けや意義を説明できるようになる。<E1,B1,C1,I1,I2,I3> ③予習(120分) 防災に関する制度等を調べ、その中で「ボランティア」やNPOの重要性について自分
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 講義で扱う基礎概念の説明や授業構成、成績の考え方など授業のガイダンスを行う。<E1,B1,C1,I1,I2,I3> ③予習（60分）シラバスの全体をよく読んで、授業の全体の構成について十分に把握しておく。 ④復習（60分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。								
2	①授業テーマ 日本における自然災害概要 ②授業概要 講義全体の前提として、日本国内の災害の発生状況について概観し、災害対応における課題とボランティアが果たしうる役割を説明する。<E1,B1,C1,I1,I2,I3> ③予習(120分) 「災害」「ボランティア」をキーワードとしてホームページを確認し、興味深い箇所を閲覧しておく。 ④復習(120分) 映像で紹介した災害の詳細について、関連書籍やホームページなどで確認すること。								
3	①授業テーマ 日本の防災・減災制度および災害対応におけるボランティアの位置付け ②授業概要 日本の防災・減災の制度や関連計画等におけるボランティアの位置付けを概観し、災害ボランティアとは何か、その全体像を説明できるようになる。そして、日本の防災体制の中での災害ボランティアの位置付けや意義を説明できるようになる。<E1,B1,C1,I1,I2,I3> ③予習(120分) 防災に関する制度等を調べ、その中で「ボランティア」やNPOの重要性について自分								

	<p>の考えをまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 映像で紹介した災害の詳細について、関連書籍やホームページなどで確認すること。</p>
4	<p>①授業テーマ 阪神・淡路大震災以前の災害ボランティア</p> <p>②授業概要 ボランティア元年と言われた阪神・淡路大震災以前の災害ボランティア活動を通史的に概観し、説明できるようになる。&lt;E1,B1,C1,I1,I2,I3&gt;</p> <p>③予習(120分) 関東大震災、伊豆大島噴火災害、雲仙・普賢岳噴火災害、北海道南西沖地震災害についてどんな災害だったのか確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
5	<p>①授業テーマ 阪神・淡路大震災と災害ボランティア</p> <p>②授業概要 ボランティア元年と言われた阪神・淡路大震災時の災害ボランティアの活動の特徴について説明できるようになる。&lt;E1,B1,C1,I1,I2,I3&gt;</p> <p>③予習(120分) 阪神・淡路大震災がどんな災害だったのか確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
6	<p>①授業テーマ 阪神・淡路大震災以降の災害ボランティアとNPO</p> <p>②授業概要 阪神・淡路大震災以降、どのように災害ボランティア活動やそれを取り巻く環境が進展していったのかについて説明できるようになる。&lt;E1,B1,C1,I1,I2,I3&gt;</p> <p>③予習(120分) 「ロシアタンカーナホトカ号重油流出事故」「新潟県中越地震」がどのような事故・災害であったのか確認しておく。特定非営利団体制度について調べておく。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
7	<p>①授業テーマ 東日本大震災と災害ボランティア</p> <p>②授業概要 2011年に起きた東日本大震災を受けて、どのような災害ボランティア活動が展開され、それはどのような特徴を有しているのかについて説明できるようになる。&lt;E1,B1,C1,I1,I2,I3&gt;</p> <p>③予習(120分) 東日本大震災におけるボランティアかつどうについて、どのような活動が展開されていたのかを調べておく。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
8	<p>①授業テーマ 専門ボランティアとNPOの活動</p> <p>②授業概要 さまざまな災害ボランティア活動の中で、医療、福祉、建築など専門的な技能を生かして活動する専門ボランティアや、組織性の高いNPO団体について、その経緯や活動内容を説明できるようになる。&lt;E1,B1,C1,I1,I2,I3&gt;</p> <p>③予習(120分) 災害時の専門ボランティア（プロボノ）とはどういった人々で、具体的にどのような活動をしているのか調べておく。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
9	<p>①授業テーマ 熊本地震以降の災害ボランティア</p> <p>②授業概要</p>

	<p>2016年に起きた熊本地震を受けて、重要性が再認識された中間支援組織などの活動を中心に、近年の災害ボランティア活動がどのようなもので、そこにどのような課題があるのかについて説明できるようになる。〈E1,B1,C1,I1,I2,I3〉</p> <p>③予習(120分) 「東日本大震災 ボランティア」で検索し、東日本大震災に関連してどのようなボランティア活動が展開されてきているのかを確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
10	<p>①授業テーマ 熊本地震以降の災害ボランティア</p> <p>②授業概要 2016年に起きた熊本地震を受けて、重要性が再認識された中間支援組織などの活動を中心に、近年の災害ボランティア活動がどのようなもので、そこにどのような課題があるのかについて説明できるようになる。〈E1,B1,C1,I1,I2,I3〉</p> <p>③予習(120分) 「東日本大震災 ボランティア」で検索し、東日本大震災に関連してどのようなボランティア活動が展開されてきているのかを確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
11	<p>①授業テーマ 民間組織等による防災・減災の活動(1)：消防団</p> <p>②授業概要 個人やNPO等による災害ボランティアと密接に関連する民間組織の防災活動を概観する。本回では、非常備消防として平素の地域防災から災害時の応急対応までを担う消防団を取り上げる。〈E1,B1,C1,I1,I2,I3〉</p> <p>③予習(120分) 消防団の組織や活動について調べておく。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
12	<p>①授業テーマ 民間組織等による防災・減災の活動(2)：民間企業等</p> <p>②授業概要 個人やNPO等による災害ボランティアと密接に関連する民間組織の防災活動を概観する。本回では、ボランティアやNPOとならび、現在の災害対応に不可欠な民間企業の活動を取り上げる。〈E1,B1,C1,I1,I2,I3〉</p> <p>③予習(120分) 興味のある民間企業が災害時にどのような取り組みを行なっているのかについて調べておく。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
13	<p>①授業テーマ 災害ボランティア活動の実相(1)：現地ニーズの把握と活動</p> <p>②授業概要 個人やNPO等による災害ボランティア活動を現場で具体的に展開するにあたり、どのような注意点があるのか、ニーズ把握から具体的な活動にかけてを検討していく。部分的にワークショップを取り入れる可能性がある。〈E1,B1,C1,I1,I2,I3〉</p> <p>③予習(120分) 世田谷区の地域防災計画をネットで検索し、内容に目を通しておく(分量が多いので十分時間をとること)。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
14	<p>①授業テーマ 災害ボランティア活動の実相(2)：3者連携</p> <p>②授業概要 困難な課題を抱えている被災者の支援には、行政・NPOそしてボランティアによる連携が不可欠である。本回では、災害ボランティア活動における3者(ボランティア/社協・NPO・行政)連携の必要性や留意点を具体的に検討していく。部分的にワークショップを取り入れる可能性がある。〈E1,B1,C1,I1,I2,I3〉</p>

	<p>③予習(120分) JVOADの活動について調べておく。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
15	<p>① まとめ</p> <p>② 講義内容全体を振り返りまとめとして重要事項を再確認する。</p>
関連科目	
教科書	毎回授業資料を配布する。
参考書・参考URL	毎回の授業資料で示す。
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先：開講時に告知する</p> <p>■オフィスアワー：開講時に告知する</p>
研究比率	<p>■危機管理領域との対応 災害マネジメント40%；パブリックセキュリティ40%；グローバルセキュリティ10%；情報セキュリティ10%</p> <p>■危機管理と法学とのバランス 危機管理学70%；法学30%</p>



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.